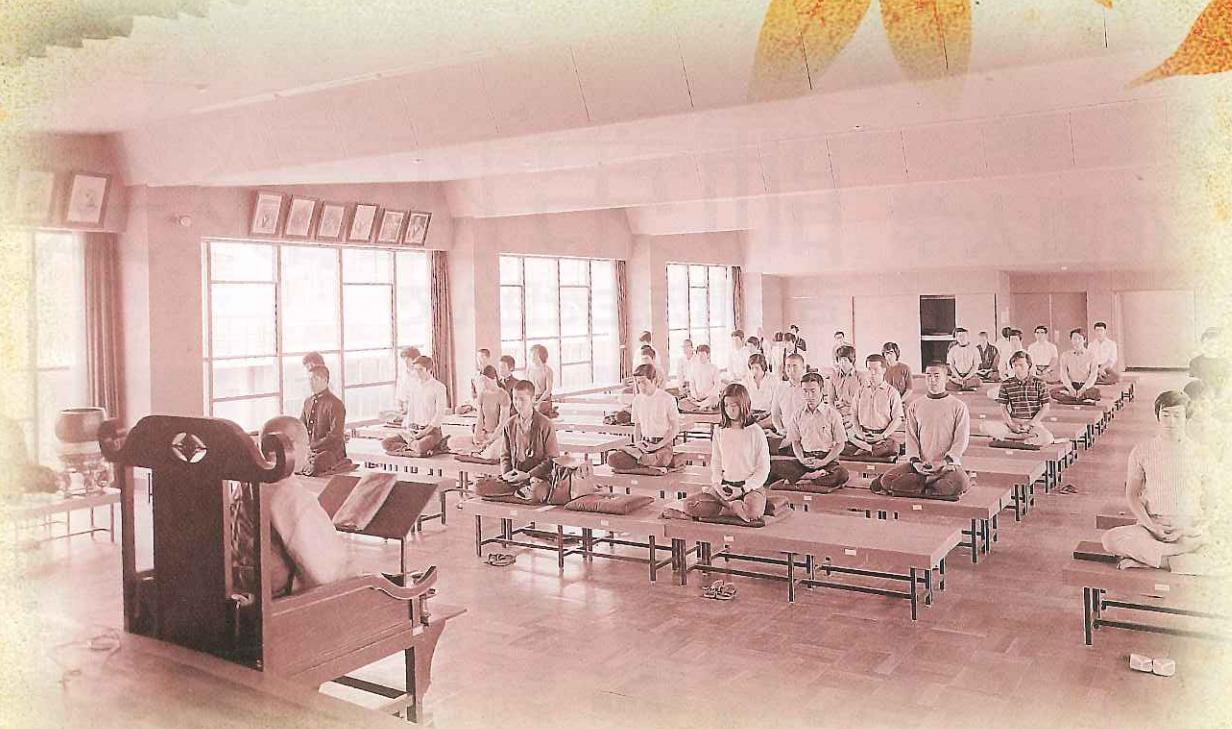


# 花園大学 同窓会通信

2015 September Vol.91



旧学舎での坐禅風景



花園大学師弟座談会	2
吉田清先生を囲んで	
吉田 清 (文学部名誉教授)	
水平秀世 (花園大学事務職員)	
新矢昌昭 (華頂短期大学歴史学科准教授)	
大艸啓 (大谷大学非常勤講師)	
鈴木順子 (主婦)	
同窓会ニュース	8
公開講演会のご案内	9
大学ニュース	10
クラブ紹介	13
中三学習会・うきょう／山岳部	14
お元気ですか	17
教員寄稿 -お久しぶりです-	18
同窓生訪問	23
横田光春さん (京都ライトハウス)	
各種案内	

CONTENTS



# 花園大学 师弟座談会 吉田清先生を囲んで



吉田 清先生  
文学部名誉教授  
鈴木 順子  
主婦  
水平 秀世  
花園大学  
事務職員  
新矢 昌昭  
華頂短期大学  
歴史学科准教授  
大艸 啓  
大谷大学  
非常勤講師

## 久しぶりの再会とそれぞれの今

吉田▼今日は、私のゼミの同窓生四名に集まついただき、花園大学での思い出などを語り合いたいと思います。皆さんお忙しい中、ありがとうございます。

吉田▼最初に、近況と学生時代の印象に残ったことなどを、お願いします。

鈴木▼一九八〇年卒業の鈴木です。私は今、専業主婦ですが、しなければならないことが多く、それなりに大変です。花園大学は、一回から四回生まで、学科が違つても皆知り合いで、距離が短いのが魅力でした。

新矢▼一九九三年卒業の新矢です。現在、華頂短期大学で教員をしています。歴史学科に所属して、主に社会史の科目を担当しています。

吉田▼古代ではなくて、近現代を担当しています。女子が多かつたですね。私たちで、女子が多数在学しているのが新鮮でしたね。

吉田▼近現代史は資料が大量にあるから難しいでしょ。新矢君は、社会学博士だね。花園大学での学生生活はどうでしたか。

新矢▼僕は他大学の経済学部から三年次編入しました。経済学部は男子ばかりでしたが、女子が多数在学しているのが新鮮でしたね。

吉田▼確かに女子が多かつたですね。私たちの時でも、ゼミは男子が一〇一人でした。

大艸▼一〇〇七年卒業の大艸です。吉田先生には、大学院でご指導いただきました。その後は、大谷大学の博士課程に移り、博士号を取得しました。今年の三月まで大谷大学で助教を務めていましたが、任期制の期間満了で、現在は、大谷大学で非常勤講師をするほか、本山の教学研究所でも教えています。

吉田▼花園大学と大谷大学は違うでしょ。花園大学の良い点は何ですか。

吉田▼花園大学の場合、古代史には吉田先生がおられ、中世、近世、考古学や美術史学も、それぞれの専門の先生がいらっしゃるのが良い点ですね。僕は文献を中心にやってきましたが、それ以外の分野も学ぶことができました。博物館があるのも良い点ですね。

水平▼一九八一年卒業の水平です。卒業してから、ずっと花園大学の事務職員をしています。現在は教務課におります。

吉田▼事務職は大変だと思います。現在の学生を見ていて、どうですか。

水平▼私に限らず、当時の学生は、自分で履修登録もして、試験も受け、大学から何も言わなくて、卒業していきました。しかし、現在は一から十までこちらから説明しなければならない学生が多いように感じます。

吉田▼こんなことを云うのはどうか、とは思いませんが、余計に頼りなく見えたりしませんか。

ますが、じちうが歳を重ねて来たので、学生のことが、余計に頼りなく見えたりしませんか。

水平▼そうかもしませんね。

吉田▼花大では自分のペースで自由に勉強させてもらいました。妙心寺横からここにキャンパスが移ってきた時に、教務課等のある校舎があり、そこに学長老師も来られて、僕らもそこに行き、いわゆる信心の問題とか、悟りの話を、学長老師の体験に基づいて教えていただきました。

鈴木▼大森老師ですか。

吉田▼大森老師が特にそうだったね。学生もお好きで、よくキャンパスで学生と話されたりしていたね。

水平▼大森老師は、学食でうどん食べておられたのですか。

吉田▼三十七八年だと思います。

新矢▼花園大学の前は、女子高の先生をされていたのですね。

吉田▼そうです。高校の同僚には、同じノートで毎年、授業をする人もいました。同じことの繰り返しで、新しいことを勉強しない。大学でも概論の担当だと、そういう先生もいるかもしれません。僕は、出来は悪いけど、毎年、表題はえていました。類聚三代格※を扱いましたが、格はなかなか読めなかつたでしょ。

吉田▼学生運動の激しかったころ、革マルの学生がゲバ棒を持って檻上に上がった時でも、彼らは、山田無文學長には一切手をかけなかった。あれは見事だったね。学長老師が何か言えば、収まつたかもしれないね。



大艸▼はい。当時は難しかったです。

吉田▼格はおそれくどの人でも手こずりますね。僕は知識が少なかったから、基礎勉強をしっかりしたのを覚えています。学生に説明するために、よく言葉を探しました。一晩中、

全十巻の漢和辞典で字を引きました。学問は楽しいね、極楽ですよ。その一方で地獄の辛さもあります。君らは論文書くのにどのくらいかかりますか。

新矢▼先日、急いで二ヶ月で仕上げたことがあります。

吉田▼僕は三ヶ月かかったな。だから長期休暇のときに書きました。年に一本しか書けなかつたですね。僕は若いときから、論文を書いていて、詰まってしまうことがあって、

そうした場合にどうしたらいいでしょうかと、先輩の先生方にお聞きしました。しかし、誰からも回答はいただけませんでした。今から思ふと、詰まるのは当たり前のことで、みんな、詰まっているのです。京都大学の柴田先生のように偉い先生でも、著書は生涯に一冊です。三品彰英先生で五冊くらい。自分はそれに近づきたいと思うのですが、僕の最近の本は君たちにも送っていないね。

大艸▼はい。

吉田▼送らないといけないね。今、読んでもると文章がまずいね。歳をとつてみると、どうしても文章のまずいのが目立ちますね。もう少ししたら、僕も言葉も喋れなくなるからな。

大艸▼先生は、昔からそういう言つていましたよ(笑)。

吉田▼花園大学も、大谷大学も、京都の仏教系の大学は、独特です。京都学派という系譜のなかに位置付けられています。僕が指導を受けた五来重先生も、最初は、文献史学だけをおやりになっていたのですが、途中から民俗学をはじめられ、文献学と民俗学が合体したような形で歴史民俗学が始まりました。僕らが若いときに悩んだのは、民俗学どころか

問は、年代を決定できないという問題でした。それを修正したのが、歴史民俗学です。年代順にあわせて文献を読んでいくと、時代ごとの当時の人たちの生活が見えてきます。皆さんも歴史民俗学を勉強してください。資料の行間の意味を求めるのが民俗学だと思います。歴史学の基礎だと思います。

新矢▼なるほど。

### 史跡踏査やゼミ旅行での学び

吉田▼学生時代で、一番思い出に残っているのは何ですか。

鈴木▼史跡踏査が楽しかったですね。

吉田▼史跡踏査は、大谷大学の国史学研究室の真似をしたのです。五来先生は、毎月一回、参加する学生には、きかうと学生服を着せて、お寺などに連れて行かれました。暑い時もそ



新矢▼どの旅行が一番記憶に残つておられますか。

吉田▼浅間山に行つた時、家に電話したら、お葬式があるから至急帰つて来いと言われたことがあります。

水平▼ありましたね。旅行に行つたその晩に、大艸▼僕らの時も、お葬式で遅れて来られたことはありました。ただし、夜の宴会に間に合つように来られましたよ。(笑)

吉田▼僕はゼミ旅行が一番良かったと思いまますか。

鈴木▼私は島根に行きました。出雲大社や風土記の丘などを回りましたね。

吉田▼あの時は、神様の降りて来た経路といふのがわかつて面白かった。皆にも言いましたか?

鈴木▼いえ(笑)。私が覚えているのは、皆で歩いている時、先生が「こちらの方が近いの

さがさ入つて行かれたことです。大変な所に連れて行かれると思いました。(笑)

水平▼私は白杵の磨崖仏と四国の石鎧山に行きました。石鎧山は、鎖に伝つて登るので、先生は途中でお茶を飲んで待つておられ、私たちだけで行つてきました。

吉田▼そうだったね。ゼミ旅行は、行つた先々で勉強になりました。一人では行けない所だからね。韓国にも行きましたね。皆お腹をこわして大変だった。

水平▼屋台で、ジュースみたいなものを飲みましたが、王冠も鑄びていて。

吉田▼私は、外国へ行つたら、あまり食べないようになります。先日イングランドへ行つた際にも気をつけました。水を口に入れたら、それだけであたつたりしますから、ペットボトルの水を持参してそれを飲むようにしました。



吉田▼私は島根に行きました。出雲大社や風土記の丘などを回りましたね。

吉田▼あの時は、神様の降りて来た経路といふのがわかつて面白かった。皆にも言いましたか?

鈴木▼いえ(笑)。私が覚えているのは、皆で歩いている時、先生が「こちらの方が近いの

**新矢**▼インドは何をしに行かれたのですか。

**吉田**▼仏跡巡礼です。「沙羅双樹の花の色」の沙羅があるでしょ。以前、沙羅の小さな苗を、インドから持つて帰つて来たいことがあります。一月くらいになつていまちが、今年、花が咲きました。お釈迦様は亡くなる直前、沙羅の木の真ん中に座具をひいて、お休みになりました。そして亡くなられた時に、一齊に沙羅の花が咲いたと經典に書いてあります。今年、沙羅の木から一齊に花が咲きました。ぼつぼつと咲くのではなくて、あの白い花が一齊に咲くのです。それを見て、お經には、嘘は書かれていないと思いましたね。

**吉田**▼沙羅があるでしょ。以前、沙羅の小さな苗を、インドから持つて帰つて来たいことがあります。一月くらいになつていまちが、今年、花が咲きました。お釈迦様は亡くなる直前、沙羅の木の真ん中に座具をひいて、お休みになりました。そして亡くなられた時に、一齊に沙羅の花が咲いたと經典に書いてあります。今年、沙羅の木から一齊に花が咲きました。ぼつぼつと咲くのではなくて、あの白い花が一齊に咲くのです。それを見て、お經には、嘘は書かれていないと思いましたね。

## 学生時代の集大成、卒業論文の思い出

**吉田**▼僕は、恩師の教育方法を自らも採り入れました。講読の授業なんかは、特にそうですね。京大では、資料講読演習といつて、講読と演習を合体したような方法でやってじたようですが、それでは学生も力がつきませんね。その方法だと資料を読むだけになってしまいります。歴史といつのは、資料を解釈しながら組み立てていくものです。組み立てていく力

が、文化史学といつう分野が成立しました。それは、現在言われている範疇の文化史ではなくて、資料学における文化史です。氷山の一角として、現れるものをわれわれは文献と呼んでいますが、その文献の下に深く沈み込んでいる氷山があるわけです。その大部分は、誰も読み込めていないわけです。その深く沈み込んでいる見えない部分を読み取る方法を考えるのが、文化史学です。長い間見てきたのですが、新鋭も古参の先生も、その基本をお忘れになつていています。僕が君たちと接触した時も、そうした概念を教えたことはありません。自分でも定かではなかつたので、言わなかつたこともあります。これからこの皆さんには、そういう部分をやつてもらいたいです。それは新矢君がやつていてる社会史のような場合にあたるかもしないし、仏教史などでも、文献だけではなくて、さらに掘り起こしていくこととで違つた部分が見えてくる、そういうものがなないといけないと思っています。

**新矢**▼なるほど、文化史ですね。

**吉田**▼僕らは、よく新聞を読めと教えられました。皆さん、新聞は読んでいますか。

**一同**▼はい。

**吉田**▼今の日本は政治も混乱していますが、

をつけなくてはいけません。皆の場合、卒業論文も良かつたものね。

**一同**▼えつ。

**鈴木**▼口述試問の時、試験官は、吉田先生ともう一人の先生で、その先生から、手厳しい質問を受け、苦しんでいると、吉田先生が助けたでございました。

**吉田**▼今さら、そんな厳しいことを言つてもしようがないもの。これまでがんばつてきたのだからね。

**新矢**▼僕は「県主制の解体過程について」というテーマで書いたのを覚えています。

**大艸**▼僕は神話をテーマにしましたが、吉田先生には、散々に言われました。

**吉田**▼うそ(笑)。

**大艸**▼いや先生は、学問については厳しかつたですよ。

**鈴木**▼先生は厳しいけれど、最後まで面倒みてくれる、と、皆言つてもらいました。私もその一人ですけれど。

**吉田**▼ゼミには自分で卒業論文を書くのが厳しい学生もいました。そういう学生の場合は、何とか卒業できるように、十月くらいから付きっきりで指導しました。

**大艸**▼吉田先生も指導されるけど、卒業が難

しい学生がいると、皆で助ける雰囲気がありました。

**水平**▼「PPT」をしたり、手伝つましたね。

**大艸**▼そういう時に一番ゼミの結束を感じました。

**水平**▼私たちの時代は手書きで、文字を間違えた時、修正液で消さずに、裏からマス田を切つて貼りつけたりしました。

**吉田**▼あれは大変だよな。一字でも間違えていたら全部だめだからね。

**大艸**▼先生は表紙もうるさかったんですね。

**吉田**▼表紙は重要だからね。学生にとっては、学生時代の最後の仕事だからね、伝統を重んじて実施するのが最も大事だと思いますね。

**大艸**▼卒業論文を書いて「卒業した」という想いが残れば、一番良いですね。

## 文化史としての歴史学を探求する

**新矢**▼歴史を学ぶことの意味について、先生のお考へをお聞かせいただけませんか。

**吉田**▼僕はいつも思うのですが、われわれがやつてている歴史学といつのは文化史だと思いまます。昭和二十年代の初めくらいに、京都大学の西田先生が「文化史学概論」という本を書

れど、歴史学は具体化です。皆さんにゼミを通じてじのくらう親しんだか知りませんけど、ゼミの名簿でじうやつて名前を見ていると、皆いい連中だったと思います。これからもじうやつよろしく。

**一同**▼先生、本日は本当にありがとうございました。



# 花園大学

## 2015(平成27年)年度 同窓会ニュース

時代は変わっても続いている卒業生同士の交流や親睦。

今年度も、支部総会・役員会、同窓会など多数開催のご報告を  
いただいております。一部を紹介申し上げます。

### 信越支部同窓会開催

六月三日開催

前支部長 片桐弘彰



六月三日、諏訪の温泉寺を会所に支部同窓会を開催しました。この日の参会者は、同窓会員九名と花大事務局から、御一人の御出席をいたしました。

新支部長に松本の磯部弘文師、副支部長に佐久の田嶋英俊師、南信泰阜の佐々木大恵師を選任。庶務会計を飯島の平野恭成師にお願いすることになりました。

会後、諏訪湖を一望する景勝地のそば処登美に出向し、お酒こそありませんでしたが親睦を深め散会しました。尚新役員三人は、それぞれ所用あって帰られ、そばの席には離れ、写真には入っておられません。



### 佐賀県支部同窓会開催

六月三十日開催

事務局 中園博道

佐賀県支部総会を佐賀市ホテルユーロオオタ二佐賀において開催しました。紅一点を含む総勢二十三名、大学側から松井学園長、児嶋課長の二名の方が出席、昨年は台風の影響で不参加でしたので、二年間の大学の現状などの説明を受け総会が終了、部屋を移して中華料理の懇親会となりました。



### 公開講演会のご案内

第八十五回

日時／10月15(平成27年)  
十月十五日(日)

会場／ピアレホール

兵庫県神戸市長田区若松町

講師／坂東英一氏  
演題／高校野球100年を語る

※講演中、椅子坐禅講習も設けられております。

第八十六回

日時／10月16(平成27年)  
10月九日(水) 午後一時

会場／良福寺会館

愛知県尾張旭市印場元町

講師／玄侑宗久師  
演題／未定

※「良福寺会館」は、名鉄瀬戸線印場駅下車  
徒歩一分。

毎回、私が入学時に着任され以後卒業まで授業はもとより、公私共に私共をお世話くださいました、桐田先生のご参加をいただき、往きの車中から早くも学生時代の話し等で、大いに盛り上りました。

宿到着後は、日本海の味覚を大いに楽しみつつ、当時の世相から女性は太秦寮、男性は白雲寮や高尾寮での生活やアルバイト、日常生活、そしてクラスメイトの近況までを、深夜まで語り明かしました。

翌日は道中三方五湖や鰐寿司の名店などに立



# 大学ニュース

花園大学で行つた行事やイベントなどを中心とした  
新しい情報を紹介します。

## 一〇一五(平成二十七)年度報告

### 学園祭「京花祭」

一〇一五年学園祭実行委員長 日本史学科二回生 田中百合乃

一〇一五(平成二十七)年度は十月二十三日から二十五日まで開催させて頂きます。今年度から「京花祭」という学園祭名を決め、また、ブログなどのネットでの情報提供も開始しました。以前よりも多くの方に花園大学学園祭の事を知つて頂けることと思います。

今年のテーマは「歴史を紡ぐ物語」です。芸能人ゲストでは「スマイル」「2700」「銀シャリ」のお三組にお笑いライブをして頂けました。露店や展示、フリーマーケットも去年よりパワーアップして、皆様をお待ちしております。



### 人権教育研究センター 活動報告とお知らせ

人権教育研究センター専任事務職員・首藤晶子

学内・裁松館四〇七号室にある人権教育研究センター(人権研)では、建学の精神にのつとり、本学の人権意識の高揚と人権教育の推進に寄与するため、年間を通じて様々な活動を行っています。

そのひとつが「フィールドワークです。春、夏、冬の三回、教職員・学生参加のもと開催しています。今年度は六月に大阪・釜ヶ崎のまちを歩き、貧困の問題(日雇い労働者の高齢化、子どもの貧困など)について考えました。八月には福島県を訪ねました。人権研ではここ数年沖縄を訪問してきましたが、今年は震災後四年を経た福島の現状、とりわけ原発による影響を実際に自分たちの目で確かめようと福島県に行きました。

また、十一月には「花園大学人権週間」を開催いたします。「十九回目を迎える人権週間。今年は十二月七日前夜祭・映画「いのちがいちばん輝く日」の上映、八日・鬼丸昌也さん・平和問題、九日・朝霧裕さん・障害者問題、生活保護問題、十日・阪口青葉さん・防災についての、講演三本です。

これからも、さまざまな問題について考え方を提供していきたいと思っています。ホームページ、定期刊行物などで情報を発信していくことで、ご覧いただけるところを存じます。



### ミクロネシア連邦ポンペイ島より 大学生招待(五月二十五日より一週間)

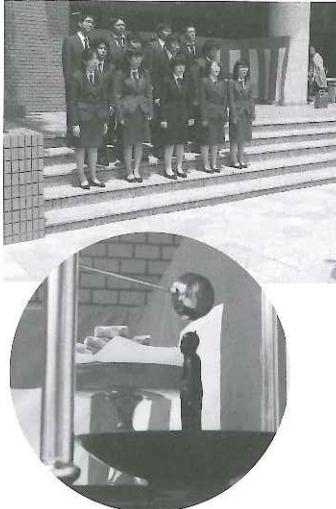
事務局 佐野泰典

一般社団法人アジア南太平洋友好協会(旧南太平洋友好協会)は、昭和四十五年の設立で五十年近くの歴史があります。本学の山田無文老師が、初代会長であられ、事務局も当時の大学内に置かれておりました。現在は、前妙心寺派管長の河野太通老師(元学長)が会長です。全国の遺族の方々とともに、太平洋戦争の激戦地での遺骨收拾と、

### 「花まつり(降誕会)」

五月二十五日夏休み、無聖館前で行い、学生、教職員など多数の参加がありました。花まつりは、正式には「降誕会(こうたんえ)」といい、お釈迦様の誕生日と伝えられる四月八日に祝う行事です。

当日は、青空のもと献灯献花、般若心經誦誦に統いて、降誕会の解説があり、参加者全員が、花御堂に据えられた水盤の誕生仏に甘茶を灌ぎ、お釈迦様の誕生を祝いました。今年も、混声合唱団、邦楽部、茶道部も参加していただき、和やかな一時を送りました。



星山と称し、真言寺院であったと伝えられます。貞和三年(一三四七)に実相寺(西尾市)の一峰明一(仮海禪師)が入山して廃寺を復興し、臨濟宗に転じて以降、東条吉良氏の外護を受けて栄えました。

戦国期、吉良氏の没落とともに当寺も衰退しましたが、永禄七年(一五六四)に徳川家康が従来の寺領を安堵、朱印地を寄進したことや、徳川政權のもと再興した吉良氏による復興により再び栄えました。寛文年間には吉良義央(一六四一~一七〇三)が華藏寺三世の絶岩祖境を請じて中興開山としました。以後今日に至ります。

中興後、花岳寺の第五世住持となつた良哉元明(一七〇六~一七八六)は、白隱慧鶴と古月禪材という近世臨濟宗における二大傑僧の両者から印可を受けた人物です。師白隱に「文殊再来」と言わしめたとされるほどの頭脳を持ち、白隱禪師下五傑の一人とされています。

花岳寺には、吉良氏に關係する史料や、良哉をはじめとする歴代住持の墨蹟や美術資料が数多く蔵されています。しかし花岳寺の文化財がまとまって展観されたことはありません。本展では、花岳寺所蔵の文化財のうち、吉良氏関連の資料と良哉元明関連の資料を中心に展観し、近世三河の地における禅文化をご紹介しました。入館者数は六〇三名でした。

### 花園大学歴史博物館 一〇一五年度春季企画展

「吉良氏ゆかりの寺 花岳寺と良哉元明」を一〇一五年五月十八日(月)から七月十一日(土)にかけて開催しました。

この島との交流もかれこれ十数年に及び、相互に往来して、交流を深めております。今回は、三クロネシア短期大学で日本語を学ぶ学生の中から、日本語スピーチコンテスト上位入賞の四名と引率教師一名を招待、花園大学でも交流会、禅堂での坐禅などを体験。日本の大学の様子を学び、日本文化にも触れ貴重な体験をいたしました。この島に興味のある同窓の方々、いかゞゆづくりと訪問されますと、おおらかで豊かな大自然と素朴な国柄に癒やされることと思います。

今回、大学の関係の各位には温かくお迎え頂きましたこと御礼申し上げます。

祥雲山花岳寺(愛知県西尾市)は、わと山号を金



## 【地蔵盆】

七月二十二日(土)休み、生憎の雨となりましたが、裁松館エントラーフロアホール前に、祭壇を設けて行い、学生・教職員多数が参加しました。「地蔵盆」は、京都を中心に八月下旬、子どもを守る菩薩として、名町内に祀られる地蔵尊にお参りし、お菓子を配つたり、福引等、地域の人たちの交流の場として盛んに行われています。



花園大学でも、厳格な宗教行事と共に、楽しい集いとして毎年開催しています。

口より、正式メニューとしてスタートしました。

## 京都学講座

今年度の京都学講座は「京のくらし—平安京から現代まで—」をテーマとして、七月二二日から八月二一日までの三日間にわたり開催しました。三日間とも約100名前後の受講者がおり、盛況のうちに終りました。

七月二二日(金)は、まず文学部日本文学科の曾根誠一教授から「文学からみた平安京のくらし」の題目で、「伊勢物語」や「源氏物語」などの王朝文学のなかに描かれた平安京のくらしについて、「東京」(左京)と「西京」(右京)の違いを中心に、お話しいただきました。続いて泉涌寺宝物館学芸員の西谷功氏から「泉涌寺と禅寺の意外な関係—禅律寺院のくらしと文化—」の題目で、真言宗の寺院である泉涌寺に伝わる作法のなかには、禅宗寺院の作法と共に通ずる点が多いことをお話ししただけました。そしてそれは中国の南宋仏教の様式が導入されたものであり、禅僧・律僧・天台僧の間での交流が背景にあること、またその新しい生活様式が、中世都市「平安京」形成に影響を与えたことをお話しいただきました。

八月一日(土)は、まず文学部文化遺産学科の高橋康夫教授から「京都・岡崎の文化的景観—くらし」なりわい・風土—の題目で、京都東山の麓にある岡崎の変遷をたどると、岡崎の場所が伝統と進取の地であると位置づけられることをお話しいただきました。また岡崎の発展と京都の街の発展などがお話し下さいました。

京都の街は、平安京以来1000年以上にわたって、都市として栄えてきました。また各時代に生まれた生活様式は、現在の私たちのくらしにも様々な影響を残っています。今年度の京都学講座は、ようした京都の重層的なくらしの諸相について、文学や考古学、そして最新の技術を用いた町家復元といった、多岐にわたる分野の先生方がお話を教えていただきました。

## CLUB クラブ紹介

充実した活動が、自分を磨き、絆を強く結びます。

### 「中二学習会・うきょう」

社会福祉学部教授 吉永 純

貧困の連鎖を断ち、子どもたちに希望をもたらす。花大学生が三十九人ほど参加しています。中二学習会は、低所得のご家庭の中学生に、花園大学生が勉強を教えるボランティア活動です。花大学生が三十九人ほど参加しています。單に教えるだけでなく、夏は焼き肉パーティー、秋には大学の学園祭への招待、冬はクリスマス会などをやって、中学生の「居場所づくり」を行っています。

学習会に来ている家庭は、ひとり親家庭が多く、父親のDV(家庭内暴力)から逃げてきている家庭や、狭いアパート住まいのため、自分の部屋がなかったり、塾に通うお金もなく、しっかりと安心して勉強できる環境にありません。その結果、成績も低く、学校の勉強についていけない子どもも多くなっています。数学では、小学校での分数計算や一次方程式がわからず躊躇になってしまいます。

そこで、週に一~二回、各一時間半ほど、右京区の福祉会館や、大学の教室を借りて、大学生と中学生が一对一で、その子の理解度に合わせて、勉強を教えています。昨年は、希望

者全員が高校に進学し、保護者の方から「無料で教えてもらうつてありがとうございました。おかげで娘は高校へ行けました」と感謝の言葉をいただいているます。

もし、子どもたちが高校へ行かずにアルバイトの生活になつたりすると、その子も貧困な生活となってしまいます。そのことを貧困の連鎖というのですが、その連鎖を断ち切るには、高校教育等を保障することがまずは重要だと思います。

私もそうした思いで、学生に呼び掛けました。たくさんの学生が応えてくれました。学生にとって、自分が教えたことで子どもたちの成績が上がり、また将来に希望を持つようになることは、大きな喜びになっています。こうした貴重な体験は将来いろんな形で学生の成長に役立つことだと思います。この取り組みにより、今後も継続して大学と地域とのつながりを強め、子どもたちの未来に少しでも役立てたいと思っています。

## 山岳部

花園大学山岳部は、現在三回生四人、二回生五人、一回生八人の十七人で活動しています。主な活動は、自分たちで登りたい山を決めて実施する年に一回の定期登山で、特に夏の長期休暇には毎年富士登山を実施しています。このように年間を通じ、

たおやかな山に登りますが、参加は自由なので、登山が初めての人や体力に自信のない人でも、気軽に楽しく活動に参加することができる。

また、すべての登山は、どの山に登るかを決めることが、どのルートを通りかなど、自分たちで計画してします。いいでは、上級生だけでなく、一生も交って全員で話しながら、部員同士の絆を深めています。その他、毎年十月に行われる学園祭では、露店や展示を行っており、日々の大学生活も充実しております。

先に述べましたように私たちは、毎年富士山に登ることを一つの目標にしています。その目標を達成するためにも、先輩や後輩という垣根を越えて仲良く助け合いながら楽しく活動していきたいと思っています。



対応するいじや、文化的景観の重要性をお話しいただきました。続いて文学部日本史学科の廣庭基介副教授から、「京都の石像物から見た神仏習合と神仏分離の痕跡」の題目で、北野天満宮や上賀茂、下鴨神社などの灯籠や墓石の銘文を丹念にたどり、神社のなかにある仏教の痕跡が見えています。

和教授から「平安京の都市づくり」の題目で、考古学の成果に基づいた平安京の変遷の様子、また貴族・庶民の暮らし、埋葬地の実像について、お話しいただきました。続いて文学部文化遺産学科の明珍健二教授文化遺産学科の伊ヶ崎鷹彦助手、「ねじりえ あゝき」の梅本直康氏から「京町家梅田町を復元する」の題目で、花園大学歴史博物館蔵「梅忠町家屋敷縦図」を用いた京町家の復元作業の過程を紹介していただきました。この絵図は一階の平面図だけではなく、二階の平面図も描かれているのが特徴です。これを一級建築士の梅本氏とともに建物として復元し、3DCGを制作しています。今回はJRCした復元作業の様子をお話しidadきました。

# お元気ですか

豊かな時間をともに過ごしました  
同窓生からお手紙が届いています。

**昭和二十一年臨専卒**  
おかげさまで、米寿を迎えることができました。



学生時代、左が漆畠弦卓師

**昭和二十五年臨専卒**  
**富山直人(大雄)**  
**(富山千枝子)**

今後も、健康に留意して、自分の心に従って、ありのままに、自分の人生を過ごすことができますよう、念願しております。



永い間、色々とお世話になりました。  
ありがとうございました。学生さん

と呼ばれて、相国寺様で、下宿、アルバイト等させて頂いた事を、何時もなつかしさつに話しておりました。

また、「一五会」という同窓会を作つておりまして、昨年十月に、三十五回目を最後にする、と申しまして、なんとか五名で開けたことを、

大変よろこんでおりました。  
重ねがさね、ありがとうございました。  
前回は、平成二十七年三月八日、午前三時三十四分、「突発性間質性肺炎」にて、死去(九十一歳)致しました。



卒業記念 昭和25年2月16日

**昭和十九年臨専卒**  
**河野琢洲**

昭和十八年、先の大戦も厳しさを加え、学徒出陣の名のもと、十八年十二月一日入隊、将校養成として豊橋第一陸軍予備士官学校に入校。十九年五月一日、南方戦線へ派遣、途中比島沖にて海没。十二月十八時の六時間漂流の後、比島に上陸、比島戦線にて従軍中受傷(銃弾二発、下顎骨骨折通筋創、兼左肩甲骨盲貫筋創)。終戦まで比島にて病院生活の後、復員。戦傷にて、上下の歯全部を失い、戦後、総入れ歯にて、傷病手当を頂く。今日なお大変な思いで仏壇に供えさせて頂きました。



玉鳳禅宮前 昭和24年1月29日

**昭和二十六年仏教学科卒**  
**越智聰明**

平成四年から、花園学園のお役目を拝命していましたが、お役目を終えさせていただいた後は、自坊に帰り、平成十二年に住職を長男の副住職に委譲し、爾来、専ら後見役としての日々を送るゆとりが与えられました。その中において、ゆとりと

充実の調和とを旨とし、余生を報恩の行を積ませていただくべく、本堂の新築と境内の環境整備にとり組み、落成することができました。今は自適好日を経ながら、消光いたしています。

で、図書館にでも見かけたら読んで下さい。これも近代仏教史&映画の歴史です。  
(P23書籍案内でも紹介しています)

**昭和四十九年史学科卒**  
**齋藤伊作夫**

三十八年間の教職生活を終えて三年がたちます。歴史の勉強、絵、書道等楽しみながらす」しています。このごろは、花園大学学長・山田無文老師の姿をよく思い浮かべては、懐かしく思っています。

さて、私事ですが。

**昭和五十五年国文学科卒**  
**松浦坂田りつ子**

私は、昭和五十八年度(昭和五十九年三月)に仏教学科を卒業しました。

入学当初は、在家庭出身ゆえの戸惑いもありましたが、次第に慣れて勉

單になれる職業でもなく、四回生で受験した静岡県の公立学校の採用試験は不合格という結果でした。卒業後の二年間は、転職を繰り返しの茨の道となりましたが、その後、御縁は確か二〇〇九年(平成二十一)年十一月号でしたががら、今から六年程前になります。毎回、同窓会通信が楽しみであり、特に多方面で卒業生が活躍している内容が自分への「力」になっておりますが、今回は、通信送付の封筒の中に葉書が同封され、「近況等お寄せください」と書いてあつた関係から筆を執った次第です。

さて、私事ですが。

私は、昭和五十八年度(昭和五十九年三月)に仏教学科を卒業しました。

花園大学で地歴(地理歴史)・公民科(社会科)の教諭として、三十年間の教員生活を送っています。今こうして、長い教員生活を振り返って思うことは、花園大学で良き先輩・友人に出会えたことや、個性あふれる生き生きとした学生生活を送ったことが、その後の人生に大きく影響しているということです。もちろん、教員生活の中で、花園大学出身で良かったと思えることが数知れずあります。

最後になりましたが、母校花園大

学校の益々の発展と学生の皆さん健闘を期待いたします。

**昭和四十七年史学科卒**  
**柏木隆法**

この十年、病氣の為に臥しています。二十年ぶりに再刊した「千本組始末記」は、故菅原文太氏のおかげで平凡社から出すことができ、初版は完売して再々刊することになりました。花大の歴史にも触れていますの

ごと感概無量です。

ありがとうございました。

これも花大で学んだことが出発点

とあります。

ありがとうございました。

これが、

## 昭和六十一仏教学科卒 南 正則

## 平成七年史学科卒 竹村 吉史

早いもので、卒業してから来春で、三十年になります。毎回同窓会通信を、懐かしく読ませて頂いてあります。私も、もう五十三歳となり、今では孫もいる身ですが、気持ちは若くもち、千年の都、憧れの京都、そして花園大学で学べた事に感謝し、日々精進で過ごしております。

花園大学の繁栄を恒に祈念しております。次号を楽しみにしています。

## 平成四年文学専攻国文学修了 小玉 浩之

前略、神戸でテニススクールの仕事を従事した後、トレーニング施設の仕事に道を変えました。

本部がある鳥取での研修を終了でき、現在はおかげ様で、提携施設のスタッフとして、再び京都に戻つてくることができました。

学生時代を過ごした京都で、あらためて仕事できる幸運を、実感している日々です。

ところが新聞先生は更に上に進學するようにと、強力に勧めてくださいました。

今後ともよろしくお願いします。

花園大学を卒業して約二十年が経ち、入学して過ぎた四年間は、振産に触れるチャンスでした。卒業後も文化財保護の仕事に携わることになりました。大学にも時々行くこともあります。やはり京都の文化財に触れる感動し勉強させられます。

東日本大震災に伴い平成二十五年に滋賀県愛荘町から岩手県大槌町に災害派遣され、微力ですが業務を行いました。他の自治体の職員の方も多く派遣で来られていきました。被災地の現状はまだ仮設住宅での生活が続いている状況であり、早い復興を願います。

## 平成十一年社会福祉学科卒 高橋 正洋

現在は一年前に転職して大阪府の福祉部の職員として働いております。

先日、花園大学での研修の案内がきていて、都合上で参加はできませ

んでしたが、またいつか足を運びたいと思います。

今後ともよろしくお願ひします。

花園大学を卒業して約二十年が経ち、入学して過ぎた四年間は、振産に触れるチャンスでした。卒業後も文化財保護の仕事に携わることになりました。大学にも時々行くこともあります。やはり京都の文化財に触れる感動し勉強させられます。

東日本大震災に伴い平成二十五年に滋賀県愛荘町から岩手県大槌町に災害派遣され、微力ですが業務を行いました。他の自治体の職員の方も多く派遣で来られていきました。被災地の現状はまだ仮設住宅での生活が続いている状況であり、早い復興を願います。

## 平成十六年国文学科修士課程修了 伊佐 迪子

私は平成十四年四月、社会人入学で、花園大学の修士課程へ入学しました。中世をえらびましたので、新間先生の指導をいただきました。年寄ボケで三年をかけて、平成十六年度に修士課程を修了しました。修了式には国文学の代表として、檀上で証書をいただきました。

四年センターへ私の考えを申し出て「変体仮名を読む」講座を開講させて下さいました。

規定の単位数を取得し、三年で満期退学をしました。ところが指導教授の黒田先生から「図書館への出入りも不自由になるから、研究員の肩書きを取得しておくように」と指示がございました。三年間を研究員として過ごしました。この間に他の先生のおはからいで、佛大四条センターで講座を担当いたしました。

みると絵巻物の前は黒山のひとだけですが、巻物の前には誰も寄り付いていませんでした。どの展覧会も同じ様相をしており、日本文化の特徴である変体仮名の文章が読めないことを露呈していました。「これって日本文化の大衰退じゃないの?」と唖然としました。「それなら私が何とかしましょう!」と大決心をしました。

展覧会は花ざかりです。出かけてみると絵巻物の前は黒山のひとだけですが、巻物の前には誰も寄り付いていませんでした。どの展覧会も同じ様相をしており、日本文化の特徴である変体仮名の文章が読めないことを露呈していました。「これって日本文化の大衰退じゃないの?」と唖然としました。「それなら私が何とかしましょう!」と大決心をしました。

## 教員寄稿



社会福祉学部  
社会福祉学科  
福富 昌城 教授

### —お久しぶりです—

てやういました。

平成二十四年度に「入門講座」、平成二十六年度には「初級講座」、を開講しました。今年度の平成二十七年度は一年間の休講期間となっていました。生涯教育を標榜している四条センターですから、受講者の年令は若くはありません。それでも会場一杯の受講者で、一八〇名程度の受講者が常にありました。去る三月に終了した「初級講座」では、受講者の一人が、檀上でもまじめにしている私の傍に来て「展覧会へ行つてこれだけの歌が読めました」と、メモを見せて、うれしそうな顔で話してくださいました。「巻物が目に入つたら、逃げてはいけない。近寄つて、ウーン、ナニナニー」と口をこらして、見る」とです」と常々言つてましたので、実行されたところ、和歌があもしろいほど読めたと言つお話をでした。和歌のメモを差し出されましたので、私も一緒にながめて「よかつた、よかつた」と喜びを分かち合いました。

この他にも大阪毎日文化センターにても「変体仮名を読む講座」を担当しておりまして、すこしでも社会のお

役に立つようにと心がけております。

現在、佛大博士課程後期へ再入学しております。

右のような活動を通して、年配の人達が「変体仮名を読む」ことに興味を示している現実があることに、思いました。私のささやかな努力が日本文化の衰退を少しでも止めることが出来れば、これほど有難いことはありません。講座担当は私の使命だと思うようになって来ました。母校の花園大学同窓会でも、お役に立つことが出来れば、と願つております。どう考ひただければ幸甚に存じます。

お久しぶりです。社会福祉学科の富です。私が花園大学にお世話になつて十五年目を迎えています。着任当時は社会福祉学科一四〇名だった学部も、福祉心理学科ができる定員が社会福祉学科と一二〇名ずつとなり、その学科も臨床心理学科と名称変更し、さらに児童福祉学科ができたことで八〇名ずつ三学科を擁する社会福祉学部のなかの社会福祉学科として現在に至つております。

社会福祉学科は社会福祉実践者の育成を大切にしており、卒業生も毎年六七割は福祉現場へと進んでいくことがあります。私の専門領域がケアマネジメントやソーシャルワーカーであることから、現場職員さん達の研修講師を依頼されることが多いのですが、さまざまな会場で研修が終わつてから、「私、花園大学の卒業なんです」と声をかけ下さる卒業生の方に出会います。高知でMSWをしておられる方、徳島で地域包括支援センターで勤務しておられる

方、大阪で特別養護老人ホームの相談員をしておられる方、もちろん京都や滋賀では施設の相談員さんや介護職員さん、行政マンさん、社協マンさんなどたくさんの方とお会いします。また、日本社会福祉士会の総会では広島や富山の社会福祉士会の会長を努めておられる卒業生にお会いしました。先日、横浜で開催された学会では、島根県でケアマネジャーをしておられる卒業生も来ておられました。

昨年度からは吉永純教授の音頭で「花大・福祉スピリットを若手先輩と語る集い」を開催しています。先輩に来ていただき、在学生に花大・福祉スピリットを熱く語る会で、在学生も大きな刺激を受けています。今年も十一月二十一日に開催を予定しています。

大勢の卒業生が実践現場で頑張つて下さることに、そして在学生を応援して下さつてることに感謝申し上げます。これからも、よろしくお願ひい

## 同窓生訪問

### 横田光春さん(京都ライトハウス)

#### ～常にチャレンジし続けることの大切さ～

現在、京都ライトハウスで勤務する花大同窓生の横田光春さんを、学生時代の指導教授である津崎哲郎先生が訪問し、お話をお聞きしました。



津崎哲郎氏プロフィール

2004(平成16)年4月より花園大学教授。児童福祉論を担当。2015(平成27)年3月退職。現在は、児童虐待防止協会理事長。



横田光春さんプロフィール  
2008(平成20)年、花園大学福祉心理学科卒業。同年12月より、「社会福祉法人京都ライトハウス」で施設見学対応の仕事に従事する。

津崎　お久しぶりです。

横田　本当に久しぶりであります。一〇〇八年三月に卒業して、ある障害者福祉の事業所に就職しました。しかし自分には合わなかつたので、半年ほどで退職しました。そんな時、偶然、京都ライトハウスの職員募集の話を聞きました。視覚障害者の場合、就職先も限られていますので、チャンスと思って受けたみることにしました。

津崎　それで合格したわけですね。他にも応募者はいましたか。

横田　十人ぐらいいたと聞いています。

津崎　十倍の倍率を突破したのですか、凄いですね。

横田　いや、おかげさまで採用していただきました。

津崎　現在は、どんな業務を担当しておられますか。

横田　私の担当は、見学対応と用賀販売です。

京都ライトハウスには年間一〇〇件ほどの見学があります。当事者である視覚障害者が見学対応もした方が、より伝わるだろうというのが京都ライトハウスの考え方です。また、視覚障害者の皆さんが日常使う用具の販売もしております、それも私が担当しています。

津崎　今の仕事はあなたにあつているのでしょうか。

横田　人とミミコニケーションをとりながら仕事をするのは好きですね。見学に来られる方は、私の話を熱心に聞いてくださるので、やりがいを感じます。

津崎　健常者が説明するのとは、やはりインパクトも違うでしようね。

横田　自己紹介の際、私が全く見えていないと伝えると、皆さん、びっくりされますね。

#### 苦手意識を克服するため、児童福祉にチャレンジ

津崎　あらゆる種類の人たちが来るわけですし。

横田　はい。小学生の見学も多いです。実は、

大学時代、私にとって一番の苦手が子どもでもありました。子どもは動き回るので、私の手にはおえません。

津崎　苦手だったのですか。

横田　私の場合、大学に行くことは一般的ではありませんでした。しかし、縁あって東京の盲学校に通うことになり、そこは視覚障害者が大学進学を目指すような学校でした。

周囲がみんな大学に行くと言っているので、当初は驚きましたが、結局、私も花園大学にしがって寄つて来ました。しかしその後、離

進学することになりました。大学で社会福祉実習に行くことになった際に、折角、大学に進学したのだから、何でもう一つチャレンジしてもよいかなと思い、あえて自分にとって一番苦手な子どもいる児童養護施設を実習先に選ばせていただきました。安全性の問題もあるので、全盲が児童養護施設を職場にするのは難しいとは思いましたが、そうであれば、逆に今しか行けないとと思ったのです。

津崎　それで私のゼミに来たわけだな。

横田　そうですね。児童養護施設の積慶園で一ヶ月ほどお世話になりました。それから、

実はその後も積慶園の村上さんのおかげで生活ボランティアという形で一週間に一回ぐらに行つっていました。

津崎　今、話に出た村上さんは、中途で田が見えなくなり、目が見えない中で指導員をなされておられる方で、こゝなら理解も得られるのではないかということであなたをお願いしました。

横田　その言葉がとても励みになりました。そして、実習が終わってからも、向こうから声をかけていただき、ボランティアを続けることになりました。

#### 関わり方を自分でみつける子どもたち

津崎　印象に残つてることはありますか。

横田　ひとり幼稚園児の男の子がいました。給食の献立が部屋の冷蔵庫に貼つてあったようで、その子が、私に「これなんて書いてあるの？」と質問してきました。私は「ごめんな、見えないから読めないのだよ」と書つたのですが、その子には、目が見えないのが、どうどうとかわからず、私が彼をいじめていると思つたみたいです。それで泣きながら「お兄さんがいじめる」と職員に言いに行きました。職員の方も飛んできて「横田君、ごめんな」と言つてくださいり、その子にも「お兄さんは田



たちつてすゞになあと思ひましたね。大人だったら、一步引いてしまうところだ、こうやって積極的に関わり方を見つけてくれるのだと思った時、子どもたちに対するイメージが変わりました。そのことがあったから、今、子どもたちがわいわい見学に来て、動じずに対応できているのだなうと思ふます。

津崎▼全然むだなことなどなく、すべての経験が後に活きてくることとの正に実例ですね。それもあなたのチャレンジ精神があればこそのことだね。

が見えない」と説明してくれました。それでも、その子は泣き止みませんでした。その後、一年ぐらい経ち、その男の子も小学一年生になりました。その子が、私に向かって「お兄さん、横に来て宿題みてよ」と叫んでいます。私が横に行くと彼は、宿題の計算問題を声に出して読みだしました。「お兄さん、2+3は5で合ってじゅ?」とか聞いてくるのです。僕もため、周囲の大人がこういふうにしなさいとは言つていません。その子が私と関わる中で、関わり方を見つけてくれたのです。

津崎▼それはありがたいことだね。

横田▼そういう出会いがあった時に、子ども

ので、行ってみました。すると様々な大学の学生が来ていました。ボランティアをする側とされる側に分けると、障害者はどうしてもされると感じることが多いのです。しかも、そこではボランティアする側として活動しました。一緒に気持ちや時間を共有していた仲間たちは、横田といふ人間を、目が見える・見えないではなく、まず一花園大学の学生として認めてくれてきました。「あ、そういえば、こいつ見えないのだったつけ」という受けとめ方をしてくれているので、今でもつながっているのだと思います。

津崎▼受け身にならずに、あなたのようにチャレンジ精神で生活するといいね。

横田▼私自身も元々は受け身な人間で、ボランティアも自分から行こうと思つたのではありません。実はボランティア活動をしている視覚障害の先輩がおられ、その方が「大学時代は勉強だけではなくて、外に出てボランティアなどした方がいい」とアドバイスしてくださいました。その人の出会いがきっかけです。後輩の皆さんには、ぜひ勉強だけではなく、活動の広がりをいろいろ持つていただきたいと思います。今、週ごしている時間はとても貴重なものなので、どうこう形であれ、ぜひ自分の財産にできるような週ごし方をして欲しいと思います。

横田▼ほい。仕事につながるかどうかはわかりませんが、夢ですね。

津崎▼前向きに生きていらう」とが、人との出会いを生み、また、その出会いを活かしていく。やはり君田身の生きる姿勢が大きいね。

横田▼今、目の見えている人達とお仕事をさせていただいている中で思うのは、やはり花園大学に行ったのが僕自身にとつては大きかったかなと思います。盲学校に行って、鍼の勉強をするのも一つで、それはそれで別の道が開けていたかと思ひますが、大学に行くと決めたことが僕にとっての一つのターニングポイントだったと思ひます。

津崎▼あなたは社会福祉士の資格はチャレンジしていませんか。

横田▼実はチャレンジしています。一昨年、社会福祉士会の講座も受けました。僕は本質的には自信がない人間で、勉強も得意ではないので、勉強で何か結果が出せると、もう少し自信を持てるかもしれないというのがあって、せっかく福祉の勉強もしてしまったし、田指

だつたら、一步引いてしまうところだ、こうやって積極的に関わり方を見つけてくれるのだと思った時、子どもたちに対するイメージが変わりました。そのことがあったから、今、子どもたちがわいわい見学に来て、動じずに対応できているのだなうと思ふます。

津崎▼全然むだなことなどなく、すべての経験が後に活きてくることとの正に実例ですね。それもあなたのチャレンジ精神があればこそのことだね。

ボランティアされる側からする側へ

津崎▼用具販売の業務では、主にどんな道具を扱うのですか。

横田▼白杖や点字板とか、ちょっととした便利グッズなどです。ただ売ったらいいかというと、それでもありません。視覚障害者にとっての用具は、日常生活に直結しています。高齢の視覚障害者の方も増えてきていますので、買つていただく前に、使い方のご説明をきちんとすると必要です。この業務も、やればやるほど深くないと感じています。

津崎▼単に買つてもらつだけではなく、それが日常生活を高める道具として、しっかりと活用してもらえるように、そのアドバイスも含めます。

津崎▼前向きに生きていらう」とが、人との出会いを生み、また、その出会いを活かしていく。やはり君田身の生きる姿勢が大きいね。

横田▼ある身体障害者の方から、お泊り介護輩にメッセージをもらいました。

横田▼そんなんに誇れるような学生生活は送っていましたわけでもありませんが、学生時代、私はボランティア活動をやっていました。その際に同じ時間を過ごした友達とは、今でもつながっています。そのつながりは、私にとっての財産です。先日も全員で集まって飲み会をしました。

津崎▼どんなボランティアですか。

横田▼あなたの形で手伝って欲しいとの話がありましたが。私自身、障害を持つているからダメかなと思つたのですが、「来てよ」と叫んでもらえた



横田▼そうですね。いわゆる弱視と呼ばれている方々に喜ばれる道具のひとつに、文字等を大きくする拡大読書器があります。見えにくくなつて、お孫さんの写真なども見ることで、やはり欲しいと思われます。ただ拡大読書器は使いこなすには練習が必要です。結局買っても操作できずに、押し入れの中にしまわれてしまうことは避けたいのです。道具としては、その人に会つて実際に話して、道具にむじっくり触つてもらうことが大切だと思います。

津崎▼今の立場で、あなたから花園大学の後輩にメッセージをもらいませんか。

横田▼そんなんに誇れるような学生生活は送っていましたわけでもありませんが、学生時代、私はボランティア活動をやっていました。その際に同じ時間を過ごした友達とは、今でもつながっています。そのつながりは、私にとっての財産です。先日も全員で集まって飲み会をしました。

津崎▼どんなボランティアですか。

横田▼ある身体障害者の方から、お泊り介護などの形で手伝って欲しいとの話がありました。私自身、障害を持つているからダメかなと思つたのですが、「来てよ」と叫んでもらえた

# 各種案内

## 書籍案内

千本組始末記  
アナキストやくざ  
笹井末三郎の映画渡世

柏木 隆法  
価格 3800円(税別)

1949年岐阜県土岐市生まれ。花園大学史学科(仏教史)卒業。

中部読売新聞、河合塾、愛知大学講師。市川白弦に師事して独自の近代仏教史を研究。現在は中外日報等に執筆しながら病気療養中。著書に「大逆事件と内山愚童」(JCA出版)、「伊藤証信とその周辺」(不二出版)。また編著に「大逆事件の周辺」(論創社)、嶋田清次郎「地上」(黒色戦線社)、伊藤証信「無我の愛」(不二出版)がある。



今年度、宮城、信越の支部長が交替されました。  
宮城支部では、星松岳師(昭和四十八年仏卒)がご退任され、鈴木宗博  
師(平成十一年仏卒)がご就任。信越支部では、片桐弘彰師(昭和三十二  
年仏卒)がご退任され、磯部弘文師(昭和五十一年仏卒)がご就任され  
ました。

ご退任の支部長様には、永年のご功  
労に厚く御礼申し上げます。また、  
新たにご就任の一師には、公私ご多  
用の最中のご就任に、心より御礼申  
し上げますと共に、今後益々のご活  
躍を祈念申し上げます。



宮城支部長  
鈴木宗博師

## 支部長ご交替お知らせ

今年度、宮城、信越の支部長が交替されました。

宮城支部では、星松岳師(昭和四十八年仏卒)がご退任され、鈴木宗博  
師(平成十一年仏卒)がご就任。信越支部では、片桐弘彰師(昭和三十二  
年仏卒)がご退任され、磯部弘文師(昭和五十一年仏卒)がご就任され  
ました。

ご退任の支部長様には、永年のご功  
労に厚く御礼申し上げます。また、  
新たにご就任の一師には、公私ご多  
用の最中のご就任に、心より御礼申  
し上げますと共に、今後益々のご活  
躍を祈念申し上げます。

しんどい部分もあったかなと思います。視覚  
障害者のみが通う盲学校に通っていましたの  
で、大学で見えている人ばかりの中に急に飛  
び込んでいったので、見えている人たちとど  
う接していくかわからなかつたで  
す。普通に接すればいいのですが最初は戸惑  
いました。逆に見えている学生も、横田にどう  
しゃべっていてもぎこちない感じでした。友  
達ができると、環境も変わるのでですが、そしま  
う接したいといふのが思つてたと思います。

横田▼そうだと思います。

津崎▼今日は本当にありがとうございました。参考になることがたくさんありました。障害があるとどうしても受け身になつたり、気弱になつたりしがちなのが、大学生活のかでいろいろなチャレンジをし、今の職場をみつけ、しかも今の職場で大学での経験が全部活きている。大学の四年間は社会で活きていたり、そのための土台作りの場ですね。それは単なる狭い意味の勉強だけではなくて、横田さん自身が言われていたように、実習であつたり、ボランティア活動であつたり、仲間関係であつたり、それがすべて、次のステップに進むためのトレーニングの場です。大学生活をよりチャレンジ精神をもつて、いろんな側面で体験をしていただくと、横田さんのように、それが活きてくると思います。学生の皆さんには、大学時代、有意義な生活をしていただけ、その土台を踏まえて社会で元気に活躍していただきたい、というのが教員の立場としての望みですね。今後ともがんばってください。

横田▼今日は本当にありがとうございました。指導のほどよろしくお願いします。今後とも指導のほどよろしくお願いします。そこでサポートを得られず、孤立感があると中々次の生活につながらないでしようね。

でが一つポイントだと思います。

津崎▼障害を抱えてチャレンジして大学に入

立場としての望みですね。今後ともがんばってください。



## 京の散歩道

(案内人もも)



暑い暑い夏が終わりました。  
少しひんやりとした空氣の中、ぶらぶらとま  
ち歩きをするには良い季節です。みんなさんは何  
か秋の計画をたてられましたでしょうか?  
アメリカ大手旅行雑誌の人気観光都市ラ  
ンキングで、二年連続京都が一位になつた、  
とのニュースが流れています。そういうれば、  
そのように人気の京都のまちについて何も  
知らないと思い至り…今年の秋は、身近な  
ところ、※嵐電沿線を散策してみたいと思  
います。

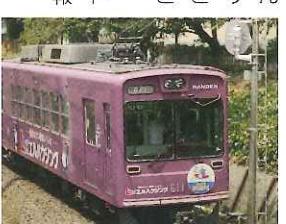
### 編集後記



愛宕山麓に薄雲かかり、  
嵯峨野路に虫だく季節、  
嵐電沿線も、すっかり秋  
めいてまいりました。ゴ

トンゴトンという心地良  
い揺れと車窓の景色が懐  
かしく、来京の折には、  
ぜひとも乗つてみたいと  
言われた、ご同窓を思い  
出します。今号、ミニ通  
信を初め、多数のご寄稿、  
貴重なお写真をお寄せ頂  
いた皆様、また、吉田先  
生の座談会、津崎先生の  
同窓生訪問取材にご協力

を頂いた皆様に、厚く御  
礼申し上げます。山紫水  
明の好季節の後、京都は、  
厳しい底冷えの冬を迎え  
ます。次号をお届けする  
頃は、吹く風も暖かく、  
桜もほころぶ時節になつ  
ているかと存じますが、  
皆様の益々の御自愛、御  
健勝を祈念申し上げます。



※京福電鐵嵐山本線の略称。四条大宮から嵐山ま  
での区間を走る。途中、帷子ノ辻から北野白梅  
町までの区間を走る北野線と併せて、嵐電「ら  
んでん」の名で親しまれる。



社会福祉法人  
京都ライトハウス

「京都に盲学生のための図書館を」という視覚障害者の願いを受け、盲人協会(現視覚障害者協会)や盲学校による募金活動、創立者である故・鳥居篤治郎氏から土地提供により、1961年創立。以来、視覚障害者への情報・福祉サービスの提供を続け、現在では、視覚障害以外の障害者も対象とした事業展開を図り、障害者の総合施設として全国的にも注目されています。(所在地: 京都市北区紫野花ノ坊町11)



行く秋～嵯峨野路～



花園大学 同窓会通信 91号 2015.9 発行

〒604-8456 京都市中京区西ノ京壱ノ内町 8-1

同窓会本部

電話 (075) 811-5181 (代)

電話 (075) 283-1125 (直)

FAX (075) 823-0600

URL <http://www.hanazono.ac.jp>

E-mail kouryu@hanazono.ac.jp